

芯

校長室通信 No. 8 2024/09/24
文責：柿沼 透

「芯」・・・トウシングサの随の部分。(三省堂『新明解国語辞典』より抄)

トウシングサは和ろうそくの原料です。学校目標「しんの強い子ども」。花火のように華美ではないけれど、子どもたちの心の奥にある本気のともしび。その芯に火を灯す教育をみんなで進めていきましょう。

教師道！

授業はだれのものなのでしょう。

教育者である私たちには、子どもたちに、

伝えたいこと、教えたいことが山ほどあります。

その思いからつい、教師主導の授業になっていないか。

教師がしゃべりすぎていないか。

阿部誠先生の師範授業は、私たちにそう問いかけています。



授業の主体は子どもたちです。

習得・活用・探求の過程は子どもたちのものです。

教師は、剣を交える弟子たちをじっと見守ること。

阿部誠先生から私たちは、

「待つことの大切さ」を学びました。

この授業では、TT による効果的な学習方法も提案いただきました。

自力解決を目指す【独力 Team】と、教師の説明を求める【サポート Team】を、

児童は、「自分自身の判断で」選択します。だから、子どもたちは自ずと真剣なのです。



導入では、T2 の横田希先生が課題を提示。

課題解決の必然性を高める場面設定も、さすがです。

T2 の先生が個別支援にあたるだけでなく、

主導的に授業をつくる場面があることで、

子どもたちの知的好奇心がぐぐっと高まりました。

どの子も取り残さない学びは、

どの子も集中させる授業づくりにこそ成立するのですね。

お二人のすばらしい指導、ありがとうございました。

